

学校関係者評価公開資料

評価基準	
4	適切
3	ほぼ適切
2	やや不適切
1	不適切

基準1 教育理念・目標

ガイドライン評価項目	自己評価	学校関係者評価
1-1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4
1-2 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか。	4	4
1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	4
1-4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	4	4
1-5 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	4
<p>【根拠・改善内容・改善方策】</p> <p>①学則、パンフレット、募集要項、学生の手引き、ホームページなどへ記載することで明文化している。</p> <p>②学生に対しては、学生の手引きを使用して、入学時のオリエンテーションで説明を行っている。</p> <p>③保護者に対しては、1年次に保護者会を実施しており、その中で説明を行っている。参加できなかった保護者の方には、保護者会で使用した資料を自宅に郵送し、目を通してもらっている。また、必要に応じて学生・保護者・教師の三者面談を実施しており、学校の考えや方針に理解をいただいている。</p> <p>④新人教員に対しては、年度開始前の新人教員研修を実施しており、その中で共通理解を図っている。その後も日々の業務の場で、引き続き共通認識の確認を行っている。</p> <p>⑤また、教職員間では日々の業務の場で、学生をどのように導いていくかについて、共通認識の確認を常に行っている。</p> <p>⑦岡山情報ビジネス学校の3つのポリシーをもとに、さらに学科ごとに落とし込む各学科の3つのポリシーについては、現在作成中である。</p>		
<p>【関係者評価】</p> <p>①概ね整っている。</p>		

基準2 【学校運営】

ガイドライン評価項目	自己評価	学校関係者評価
2-1 理念・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	4

2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4	4
2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4	4
2-4 人事、給与に関する規程等は整備されているか。	4	4
2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4	3
2-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4	4
2-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	4
2-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3	4
<p>【根拠・改善内容・改善方策】</p> <p>①3月に「三友教育グループ」全体会議を実施している。</p> <p>②全体会議では、三友学園教育グループの経営責任者から、次年度に向けた全体方針が示される。</p> <p>③三友教育グループ3校それぞれの運営責任者から、全体方針に基づいた各校運営方針が示される。</p> <p>④各校の運営方針に基づいた各課・各学科の責任者から新年度の目標が発表される。</p> <p>⑤毎週、拡大幹部会議と部課長会議を実施しており、就職状況・募集状況の報告、担当者から提出された行事等の企画書の検討を行い、企画実施の承認可否決定を行っている。</p> <p style="text-align: center;">運営組織体制</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[理事会] --- B[幹部会議] B --- C[部課長会議] C --- D[課会議] D --- E[学科会議] </pre> </div> <p>⑥社会保険労務士の指導のもとで、就業規則・出張旅費規程・給与規程・退職金規程・車両管理規程・稟議規程・育児介護休業規程・教育研修規程・定年再雇用規程・嘱託教職員等就業規則・個人情報保護規程・セクシャルハラスメント防止規程・公印規程・慶弔見舞金規程などを作成し、明文化することで全教職員が常に確認できる状態にしている。</p> <p>⑦ホームページにおいて、学校情報の情報公開を行っている。</p> <p>⑧全国の900校を超える学校で導入実績のある学園総合情報システムを導入している。システムの安定性・運用保守・機能間のデータの連係などの向上が図られている。</p> <p>【関係者評価】</p> <p>①概ね整っている</p>		

基準3 【教育活動】

ガイドライン評価項目	自己評価	学校関係者評価
3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	4
3-2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	4
3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	4
3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3	4
3-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	4	3

3-6 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	4	4
3-7 授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	4
3-8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4	4
3-9 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4	4
3-10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	4
3-11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3	3
3-12 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。	3	3
3-13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3	3
3-14 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3	3

【根拠・改善内容・改善方策】

- ①学科毎に年2回、それぞれの専門分野の企業様にご協力をいただき、教育課程編成委員会を開催し、教育内容についてご意見をいただいている。
- ②学校関係者の皆様のご協力をいただき、年1回、学校関係者評価委員会を開催し、職業教育に関し外部評価をいただいている。
- ③専門教育を行っていく中で、現場の皆様のご意見は大変貴重なものであり、常に業界における最新の動向を教育内容に取り入れることは、専門学校教育においては重要なことと考えている。
- ④それぞれの委員会でいただいたご意見をもとに、必要に応じてカリキュラム体系の見直しを行い、修業年限に対応したシラバスを作成し、授業を実施している。
- ⑤すべての学生に対して、修業年限のカリキュラムの中で、企業実習（企業実習・キャリア実習・保育実習・病院実習・現場実習）を課している。また、情報系の学科を中心に企業連携授業も実施している。企業実習の経験は、技術の習得だけでなく、物事に対する取り組み姿勢を含めて心の成長を得ることができ、その後の就職活動を行っていくうえでも非常に効果を上げている。
- ⑥年間カリキュラムおよび成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準については、学則と学生の手引きで明文化し、授業および成績評価を実施している。
- ⑦全教師に対する、学生による授業アンケートを年2回、前期・後期の授業終了前に実施している。授業アンケートの結果については、全ての教師に管理職から面談形式でフィードバックし、その後の学生対応および授業展開に生かしている。
- ⑧新人教員に対しては、下記の通り年間を通じての研修を実施している。
 - ・年度開始前に2日間にわたって新人教員研修を実施
 - ・以降月1回の頻度で、「授業フォロー研修」「動機付け研修」「クラス運営研修」「伝え方研修」等、毎回テーマを設定し研修を実施
 - ・2月中旬には全専研グループによる「新人教師研修会」に参加
- ⑨新人以外の教員に対しても、外部で実施される研修への参加や、学内での研修を、年間を通じて実施し、能力開発に努めている。なお、教師の研修受講内容については、本校ホームページにて情報公開を行っている。

【関係者評価】

- ①大変な人生を生き抜くための人間力を3～5歳のうちにどのように身につけさせるのかを考えられる先生になってほしい。幅広い視野を持った卒業生を輩出してほしい。3～5歳の子どもでも考えないといけないので、学び続けることは大変であるが、在学中に自分がやりたいことだけを学ぶのではなく、自分の仕事、学校教育の意味をしっかりと理解できる学生を育ててもらいたい。
- ②ダイバーシティ（多様性と対話力）が求められる時代において、問題解決型ではなく、問題発見型の授業を実施している。学生たちは発想力があり、こちらも勉強になる。学生たちは答えのない世界に出ていくので、問題を見つける力をどう身につけるかが重要となる。授業において自分たちは学生のメンタリングであるが、学生を教えることでリバースメンタリングにもなっている。
- ③企業においてもSDGsの取り組みは進んできているので、学校内でも取り組んでもらえたらと思う。

基準4 【学修成果】

ガイ ド ラ イ ン 評 価 項 目	自己 評価	学校関係 者評価
4-1 就職率の向上が図られているか。	4	4
4-2 資格取得率の向上が図られているか。	3	3
4-3 退学率の低減が図られているか。	3	3
4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	3	3
4-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3	3

【根拠・改善内容・改善方策】

- ①就職に関しては、内定を得ることがゴールではなく、その先の社会で卒業生がいかに充実したキャリアを重ねていくことが出来るかを常に全教職員が意識し、専門職への就職、正社員として就職することの意味を学生にしっかりと伝えて就職活動をサポートしている。その成果が令和2年度の最終就職希望率 93.0%（473名中 440名）、就職決定率 99.8%（就職希望者 440名中就職決定者 439名）など、毎年高い就職実績につながっている。
- ②上記の延長線として、外部へ向けての学生の就職状況の数値報告については、就職希望者を対象にする内定率だけではなく、就職年次のすべての学生数を明記することにより、本来の就職状況が分かるように数値を記している。
- ③キャリアサポート室のスタッフと卒業年次の担任による就職会議を毎日実施し、求人情報の伝達、情報交換、学生の就職活動状況の共有を図っている。
- ④キャリアサポートスタッフが、卒業生がお世話になっている企業を訪問し、卒業生の様子を伺ったり、企業の要望を吸い上げ、教務部にフィードバックすることで、キャリア教育や教育内容の改善に生かしている。
- ⑤学内で独自の就職セミナーを実施している。
- ⑥就職後の離職状況の把握については、就職先の企業に対して就業状況のアンケートを実施し、状況把握を行っている。
- ⑦就職活動において、大学生ともしっかりと競えるように、希望者には放課後セミナーを実施するなど、学生個々で必要とするサポートを行うことで、大手企業への就職につながってきている。

- ⑧資格取得については、単に資格取得を目指すだけでなく、人間形成教育の一環として全員受験を行っている（級毎の段階的受験を除く）。毎回、目標設定を行い、教員間でしっかりと情報共有をし、資格試験前の対策授業を実施している。
- ⑨パンフレットの合格実績表記は、取得率（クラス全員対象）と合格率（受験者対象）を明確に分けて記している。
- ⑩担任がメンターとして学生に対してきめ細かく、面倒見よく接することで、また学生に関わる教員間で連携をしっかりと取ることで、退学者数・退学率ともに減少し、退学防止につながってきている。

【関係者評価】

- ①専門スキルの土台を作るだけでなく、人生を強く生き抜くための力を身につける場としてあり続けてもらいたいと思う。
- ②Covid-19により、日本だけでなく世界中が大きく変化してきている。貴校は学生から社会への最後パイプとなります。パイプの出口が現在と異なる時代に繋がらないよう、常に社会情勢変化を敏感に感じ取り、対応していってほしい。
- ③平和で個人主張が何でも言える環境から社会に出ると「責任と権利」のバランスを保つことの難しさ、課題を見つけ自ら解決していくこと、コミュニケーションの重要性等々、知識・技術だけではなく人間力の構築も同様に必要かと思う。若い年齢から育成の機会を作ることが大人の責任であるような気がしている。

基準5 【学生支援】

ガイ ド ラ イ ン 評 価 項 目	自己 評価	学校関係 者評価
5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	4
5-2 学生相談に関する体制は整備されているか。	4	4
5-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	4
5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3	3
5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3	3
5-6 学生の生活環境への支援は行われているか。	3	3
5-7 保護者と適切に連携しているか。	3	3
5-8 卒業生への支援体制はあるか。	3	4
5-9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3	4
5-10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4	4

【根拠・改善内容・改善方策】

- ①担任とキャリアサポート室スタッフによる、就職サポート体制を構築している。
- ②スクールカウンセラー・臨床心理士による相談窓口を設置し、学生のみならず保護者も相談を受けることができる体制を構築している。

③年1回の健康診断を実施し、指定医からの助言を受けるなど、学生の健康管理の体制を整えている。

④OIC独自の学費支援制度・各種制度による経済的支援体制を構築している。

入学時

試験によるOIC特別奨学金制度

資格・検定によるOIC特別奨学金制度

社会人等支援奨学金制度

学卒者入学金免除制度

兄弟姉妹・親子入学金免除制度

在学时

後期授業料免除制度

各種表彰制度

通学定期券

学生旅客運賃割引

⑤高等教育の修学支援新制度の機関要件確認申請を行い、認定校として認められている。

⑥厚生労働省から社会人の学び直しを支援する教育訓練給付金制度講座の認定を受けている。

⑦県内の各高等学校または本校を会場にして、高校生の進路研究に関する体験授業を行っている。

⑧県内の各高等学校または本校を会場にして、高校生の進路研究に関する体験授業を行っている。

⑨高等学校の教師に対する各種説明会を年に数回（公務員セミナーなど）を行っている。

【関係者評価】

①概ね整っている。

基準6 【教育環境】

ガイドライン評価項目	自己評価	学校関係者評価
6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3	4
6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	3	4
6-3 防災に対する体制は整備されているか。	3	4

【根拠・改善内容・改善方策】

①コロナ禍の中、「学びを止めない」という共通理解のもと、遠隔授業の環境をいち早く整え、対面授業と遠隔授業の両立(ハイブリッド型)を図り、年間通じて授業を止めることなく行ってきた。

②全ホームルーム教室へのプロジェクターの設置やWiFi環境の整備を行っている。

③全ホームルームに空気清浄機を設置し、教室の衛生管理を行っている。

④遠隔授業の実施を可能とする環境整備を進めた。

⑤企業様との連携については、企業実習や特別授業など、ここ数年でかなり充実してきたが、今後も企業様のご協力を頂きながら、お互いにとって「Win -Win」の関係が築けるように、より一層の強化を図っていきたい。

⑥本校舎は耐震・耐火構造ビルの設計となっている。また、本校舎ビル内の防災センターと協力し年2回、防災訓練、消防訓練を実施している。

⑦日本赤十字社の講師を招いて、全教職員対象に救急法の講習会を実施している(隔年)。

【関係者評価】

①概ね整っている。

基準7 【学生の受入れ募集】

ガイドライン評価項目	自己評価	学校関係者評価
7-1 学生募集活動は、適正に行われているか。	4	4
7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	4
7-3 学納金は妥当なものとなっているか。	4	4
【根拠・改善内容・改善方策】 ①開校以来30余年、“誠実に”を心掛けての学校運営を行ってきた。学生募集においては、学生を集めるためだけの広報活動ではなく、高校生にとって進路選択に必要な情報は何かをしっかりと考えて、情報提供を行い、募集活動を行っている。 ②オープンキャンパスにおいて、進路選択のポイントをしっかりと伝えている。 例 就職内定率・検定合格率など公表する数値の意味をしっかりと説明する。 一つでも多くの学校・学科の話聞いて、じっくりと学校選びをすること。 ③エビデンス（根拠）ある情報に基づいた募集活動を行っている。		
【関係者評価】 ①概ね整っている。		

基準8 【財務】

ガイドライン評価項目	自己評価	学校関係者評価
8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	4
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	4
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか。	4	4
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか。	4	4
【根拠・改善内容・改善方策】 ①税理士・公認会計士の監査・指導のもと、ホームページへ財務関係の情報公開、監査役への事業報告を行い、適切な財務管理をおこなっている。 ②今後の校舎の修繕計画（空調設備等）に基づき、修繕引当金や施設拡充引当特定資産として、準備金の積み立てを行っている。		
【関係者評価】 ①概ね整っている。		

基準9 【法令等の遵守】

ガイドライン評価項目	自己評価	学校関係者評価
9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4	4
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	4

9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4	4
9-4 自己評価結果を公開しているか。	4	4
9-5 学校関係者評価の実施体制を整備し評価をおこなっているか。	4	4
9-6 学校関係者評価結果を公表しているか。	4	4
9-7 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか。	4	4
【根拠・改善内容・改善方策】 ①自己点検・自己評価を実施し、その結果をホームページに公開している。 ②学校関係者評価委員会を実施し、その報告書をホームページに公開している。 ③【一般社団法人専門職高等教育質保証機構】より教育の質が高いことを示す第三者評価を受け、「全ての項目で基準を満たしている」という評価をいただいた。また、その専門学校第三者評価「第三者報告書」をホームページに公開している。 ④上記以外に、財務・学校基本情報などをホームページに公開している。		
【関係者評価】 ①概ね整っている。		

基準 10 【社会貢献・地域貢献】

ガイ ド ラ イ ン 評 価 項 目	自己評価	学校関係者評価
10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3	4
10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	4
10-3 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。	4	4
【社会貢献・地域貢献に対する根拠・改善内容・改善方策】 ①各種団体と連携し、本校において講座・セミナーなどを開催している。 例 岡山県委託事業高校生向けプログラミング講座 WRO主催ETロボコン岡山予選会場 ②各種団体から依頼のあったボランティアを学生に紹介し、希望する学生が参加している。 例 庭園岡山エコクリーナーズの清掃ボランティアへの年2回参加 社会福祉施設・保育園・幼稚園でのボランティア 本校学園祭において <ul style="list-style-type: none"> ・日本赤十字病院との共同による献血活動 ・難病と闘うこどもが持つ夢の実現の手伝いを支援するメイク・ア・ウィッシュ活動への協力 日本赤十字社を通じて災害発生地域等に向けた募金活動 赤い羽根共同募金活動 おかやまマラソンボランティア 奉還町ハロウィンフェスタ		

【関係者評価】

- ①概ね整っている。